

名寄市立総合病院物流管理システム導入業務

基本仕様書

令和元年9月

名寄市立総合病院事務部総務課

第1 業務の概要

1 施設の概要

- (1) 施設の名称 名寄市立総合病院
- (2) 所在地 名寄市西7条南8丁目1番地
- (3) 病床数
一般科 300床 (ICU 8床、NICU 3床)、精神科 55床、感染症 4床 合計 359床
- (4) 診療科目等
内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、心療内科、精神科、放射線科、麻酔科、救急科
人工透析 25台、リハビリテーション

2 業務の目的

名寄市立総合病院で使用する診療材料、検査試薬、消耗品等の在庫数量や発注業務、各部署への配送業務など院内における物流を適正に管理し、材料費の削減や看護スタッフの負担軽減を図るため、物流管理システムを導入する。

3 業務の名称、期間等

- (1) 件名 名寄市立総合病院物流管理システム導入業務
- (2) 導入施設 名寄市立総合病院 (名寄市西7条南8丁目1番地)
- (3) 導入期間 契約締結日から令和2年3月30日
- (4) 運用期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日
ただし、ハードウェアの状況等により運用期間を延長する場合がある。
- (5) 業務内容 物流管理システムの構築、納入および稼働支援

4 現行システムの稼働状況

- (1) メーカー 株MICS
- (2) 名称 MASTY
- (3) 導入年月 平成23年2月
- (4) システム構成

項目	品名	規格	数量
DBサーバー	IBM System X3200 M3 モデル	OS:Windows Server2003 CPU: インテル®Pentium®(2.8GHz) メモリ: 2GB HDD: 250GB×2 シンプレックス SATA	1台

増設メモリ	1G PC3-10600 DDR3	1333MHZ UDIMM サーバー用	2 枚
ディスプレイ、キーボード、マウス切替機	COREGA CG-PC2UVMNS	サーバー用	1 台
無停電装置	APC Smart-UPS1000 SUA1000JB	サーバー用	1 台
クライアント端末	HP Compaq 6000 Pro SF/CT	OS:Windows XP Pro CPU:インテル®Core(TM)2 Duo プロセッサ E750C(2.93GHz) メモリ:2GB HDD:160GB ディスプレイ:TFT 液晶 17 型モニタ PCI モデル:物品センター 1 台、検査科 1 台	3 台
カードプリンタ	フェニックス Card-I	SPD カードプリンタ	1 台
カードリーダー	フェニックス シートリーダー AX100	CCD スキャナ搭載	1 台
バーコードリーダー	Symbol ガン式レーザースキャナ	LS2208U USB キーボードインターフェース 物品センター 1 台、検査科 1 台	2 台
外付 SSD	BUFFALO USB2.0 用	32G SHD-PE32G-WH(白)	1 台
その他ハードウェア	1C/1COM スイッチング HUB	BUFFALO LSW3-TX-8NP 8PORT	2 台
	LAN ケーブル	ELECOM 5m	6 本
ソフトウェア	DB ソフト	Oracle 10g Database Standard Edition One	1 本
	リモートメンテナンスソフト	Symantec PcAnywhere Ver12.0(ホスト 版)	1 本
	FAX 通信ソフト	InterCOM まいとーく FAX 9 Pro +OCX セット 物品センター 1 回線、検査科 1 回線	2 本
	UPS コントロールソフト	PowerChute Business Edition Deluxe for Windows SSPCBEW1SMJ	1 本
	アプリケーションソフト	Office 2007 Professional	3 本
	ウイルス対策ソフト	トレンドマイクロ ウイルスバスタービジネスセキュリティ	5 本
	ウイルス対策ソフト	トレンドマイクロ ウイルスバスタービジネスセキュリティ メディア	1 本

(5) 管理物品の調達費用の概算（平成 30 年度決算額・消費税込）

診療材料費 15 億 5,155 万円

検査試薬購入費 1 億 3,528 万円

消耗品費 4,986 万円

(6) 物品マスタ登録件数（令和元年 9 月 2 日現在）

診療材料 24,466 件

消耗品等 1,489 件

検査試薬 2,644 件

第 3 仕様の概要

1 基本仕様

- (1) 管理物品の範囲は、診療材料、検査試薬、消耗品とする。
- (2) 管理物品の発注管理、入庫管理、払出管理、消費管理、定数管理、倉庫在庫及び部署在庫管理、棚卸業務が可能であること。
- (3) 医薬品の管理、手術室の収支分析、保険請求データとの突合による保険請求漏れの防止などを行なう可能性があるため、それらの機能を拡充できること。
- (4) 検査試薬はロット毎に有効期限を管理でき、医療法に適合した試薬管理台帳を作成できること。
- (5) 当院の診療業務に支障のないよう、切れ目のない物流管理を行ないつつ、スムーズに新システムに移行できること。
- (6) 物品マスタ、部署マスタ、業者マスタ、定数設定、発注点設定など、稼働に必要なマスタ整備や設定を含むこと。
- (7) 当院の職員に対して、システムの操作方法や運用等の研修を実施すること。
- (8) システムの稼働前後は、最低 3 日間は常駐サポートを行うこと。
- (9) システム稼働から長期間（約 10 年間）の運用が可能であるものとし、継続的な運用支援の確保ができること。
- (10) 複数の同規模施設において安定稼働している実績を有すること。

2 求める成果品

項目	内容の例
システム	物流管理システム
ハードウェア	サーバ端末 1 台 UPS 1 台 クライアント端末 4 台

完成図書 ※紙媒体及び電子データ	基本設計書 外部設計書（カスタマイズによる機能の仕様） ハードウェア構成図及び一覧表 ソフトウェア構成図及び一覧表 設定内容及び解説 操作マニュアル 障害対応マニュアル 完成報告書
その他資料 ※紙媒体及び電子データ	システム移行計画書（作業スケジュール、テスト計画等） 課題・進捗管理表 打ち合わせ議事録 引継資料

3 業務内容

(1) システム導入にかかる業務

- ア 基本設計・詳細設計・製造
- イ マスタ等データ構築・移行
- ウ 導入テスト
- エ 操作研修
- オ 物品ラベル貼り替え作業
- カ 稼働立ち会い、常駐サポート

(2) システム稼働後の運用保守における業務

- ア システム保守管理（電話、遠隔操作を含む）
- イ 障害発生時対応（電話、遠隔操作を含む）
- ウ ヘルプデスク対応
- エ システムの軽微な改修

※運用保守にかかる時間帯は原則、平日 8 時 15 分から 17 時まで

4 履行期間

(1) 契約期間

契約日より令和 2 年 3 月 3 1 日まで

(2) スケジュール

令和元年			令和2年度	
7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
	選定・契約	設計・製造	新システム運用	
		マスタ等整備		
		導入支援		

5 納入条件

(1) 納入場所

〒096-8511

北海道名寄市西7条南8丁目1番地

名寄市立総合病院 1階 物品センター

2階 総務課、臨床検査科

なお、詳細については名寄市立総合病院の指示に従うものとする。

(2) 完了検査

本委託業務が完了した際は、受託者は速やかに完了検査を受けること。受託者は、検査に必要な作業の協力をするものとし、委託者の指摘があった場合は適切な処置を施すこと。

6 ハードウェア要件

- (1) サーバーは、当院新館3階のサーバー室に設置すること。
- (2) サーバーには無停電装置およびバックアップ用の外付けHDDを備えること。
- (3) サーバー及びクライアント端末にはウイルス対策ソフトを備えること。
- (4) サーバー及びクライアント端末は、システムに備えた機能をストレス無く稼働させるために必要なスペックを有すること。

7 システム機能要件

システム機能要件一覧表（別紙1）のとおりとする。なお、システム機能要件一覧表（別紙1）は、提案者記入欄に対応の可否及び根拠を記載し、根拠資料と共に提出を要する。提出方法は実施要領のとおりとする。

8 システム導入要件

(1) 導入体制

- ア 要員の人数、スキル、経験等、本業務を履行できる十分な体制を確保すること。
- イ 本業務の履行にあたって、現場監督員を設け各工程の品質管理を行うとともに、

委託者との対応窓口を設け、常に契約の履行状況を確認できるものとする。

(2) データ構築、移行

- ア 現行システムにおけるデータ及びマスタを正確に引継ぎ、継続的な業務が可能となるよう配慮すること。なお、業務の効率化等のためのデータの合理的な改変は妨げないものとする。
- イ データ構築、移行の対象とすべきデータ及びマスタは以下の通りとする。
 - a) 物品マスタ
 - b) 業者マスタ
 - c) 販売元（メーカー）マスタ
 - d) 保険請求マスタ
 - e) 定数設定
 - f) 発注点設定
 - g) 倉庫在庫数量
 - h) 部署在庫数量

(3) 導入テスト

- ア テストの実施体制、スケジュール、環境、評価指標等のテスト方針について計画書を作成し、委託者の了承を得たうえこれを遵守すること。
- イ テストの環境及びデータは本格稼働を想定したものを整備することとし、受託者の責任においてこれを準備すること。
- ウ テストによるシステムの障害等があった場合は、障害の内容、解析の結果、対応の結果等必要な情報を報告すること。
- エ テストに使用したデータは本格稼働時の環境から排除し、稼働後のデータとの混同が起これぬよう十分は配慮を行うこと。

(4) 操作研修

- ア システム利用者に対し、システム運用開始までに十分な操作説明を実施すること。
- イ 研修外での質疑にも応対するほか、必要に応じて研修用の教材を提供し、システムの本格運用に向けたユーザーの運用方法の習熟に対する必要な協力を行うこと。

(5) 物品ラベル貼り替え作業

倉庫在庫及び部署在庫に貼付しているカードを、新システムのラベルに切り替える作業は、原則として土日祝日に実施すること。また、診療業務に支障の無い方法で実施すること。

9 システム運用保守要件

(1) 保守管理

- ア 受託者は常に良好なシステム運用ができるよう、システムの保守に努めること。
- イ ヘルプデスクを設け、円滑な執務を支援する体制を整えること。

ウ 日ごとにデータのバックアップを行い、システム不具合が発生した場合も早急に正常な状態に復旧できる環境を維持すること。

(2) 障害対応

ア 障害が発生した場合、障害の原因、回復の見込み等を速やかに報告し、回復作業にあたること。

イ 何等かの障害によりシステムの停止が必要な場合は、速やかに委託者に報告すること。

ウ 障害回復後は再発防止に向けた必要な処置を施すとともに、一連の経過を文書にて報告すること。

(3) システムの改修

ア システムの正常な運用に必要なアップデートを施すこと。

10 拡張性要件

(1) 歴年のデータ蓄積に対し、プログラム等を改修することなくデータ記録容量を増大して対応することができること。

(2) 制度の移行や運用の変更へ備え、システムの構成は機能追加や保守作業に対する影響範囲を局所化し、柔軟なシステムのメンテナンスに対応できること。

(3) 将来にわたり遷移が想定される要素は、マスタの管理により容易に変更可能であること。

第4 その他の要件

1 予算

予算の上限は、1,500万円（消費税及び地方消費税10%を含む。）とする。